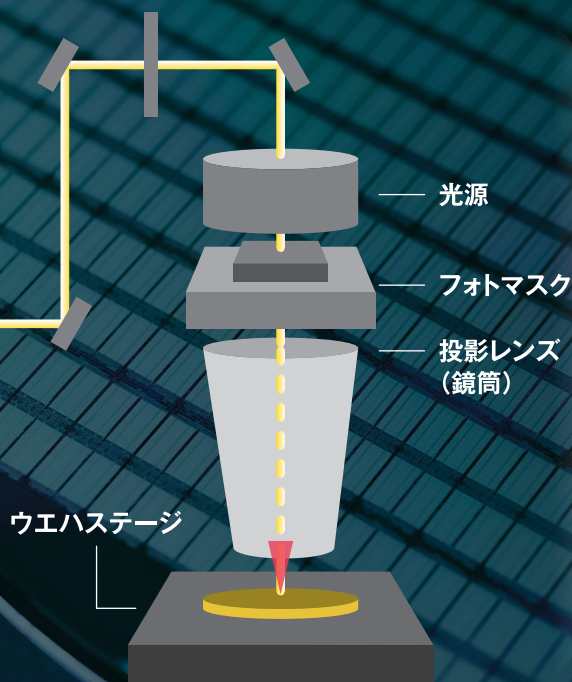


# LEX 導入で変わる先端産業分野

半導体・光学・航空宇宙分野でLEXが採用される理由についてご説明します。

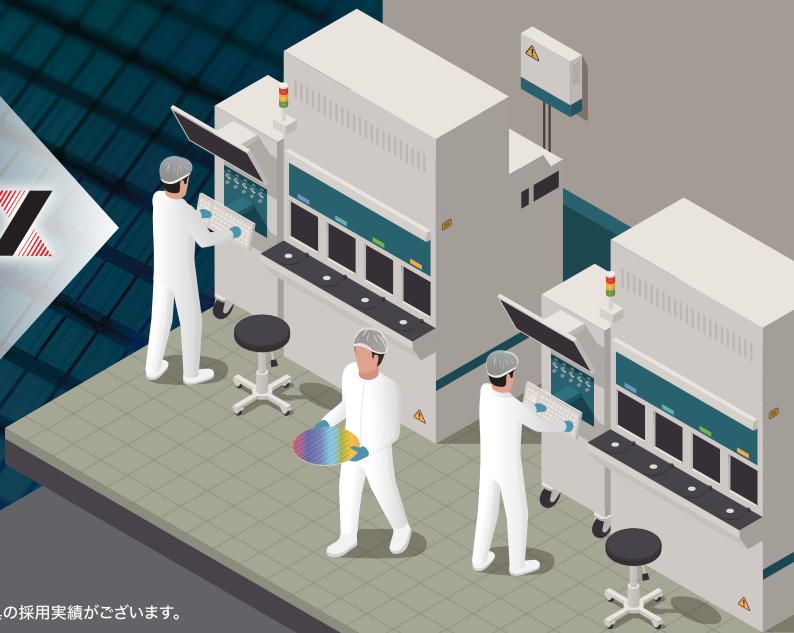
## 半導体分野でのLEXの活躍場所

LEXはその精度の高さから半導体分野では露光装置になくてはならない素材です。



LEX

※上記は一例です。代表例として、半導体製造装置・半導体検査装置・光学機器・航空宇宙向け金型・治具の採用実績がございます。



精度が求められる先端産業でLEXはその熱膨張係数の低さで大活躍しています。



熱膨張を考慮して設計する手間が省ける

設計の自由度向上



精度が向上することで製品ロスが減る

高品質品を安定供給



お客様の要望に合わせて熱膨張率を調整

フレキシブルな材料設計

## LEX-3DPに対するよくあるご質問

前回10月号でご紹介したLEX-3DP品につきまして、お客様からお寄せいただいた質問から件数の多かったものにお答えします。

Q 造形精度は、何 $\mu\text{m}$ まで出せますか？

A 造形精度は、200 $\mu\text{m}$ まで出せます。

Q 切削性はSUSと比べて優れていますか？

A SUS304と同等です。

Q 表面処理は施工できますか？

A 可能です。無電解Ni、黒色クロム等実績がございます。

Q 実際の装置等に採用された実績はありますか？

A 半導体検査装置向けに採用いただいた実績がございます。

テクニカルノートを配信の皆様だけに限定公開しています。右のQRコードよりご覧いただけます。



Petit Column

日本鑄造 ハナシのタネ 日鑄百科

## チーム日本鑄造 (LEX-ZEROの開発と軌跡)

先端分野の多くの主力製品に使用される素材、「LEX-ZERO<sup>®</sup>」。

世の中の「工業化社会から情報化社会へのパラダイムシフト」が加速化し、通信やIT関連分野の機器に対する精度要求は等比級数的に高まると予測し、その要求に応えられる低熱膨張材料を目指して、およそ30年前から製造・販売・技術が一体となってその開発に取り組んでまいりました。

その結果、2014年にゼロ膨張合金「LEX-ZERO<sup>®</sup>」の発明に成功しました。

今日、半導体・光学メーカーをはじめ、多くのお客様にご愛顧いただいております。

私たちが学んだのは、昨年のラグビーワールドカップ同様、一つのことを成し遂げるには、チーム一丸となって取り組むことが大切だということです。

材料に求められる性能は時代と共に変化しますが、弊社の「ワンチーム」体制は創業から100年経った現在も変わらず、これからもよりパワーアップしていきます。

NEW

10/27(火) 第64回宇宙科学技術連合講演会にて「低熱膨張材料への金属積層造形技術の適用」を発表します。

発表内容は次号にてご報告いたします。

お問い合わせは



日本鑄造株式会社

素形材営業部 第2営業室 TEL.044-322-3756  
<https://www.nipponchuzo.co.jp/lex/>



予告

次号は、上記講演会の発表内容と、航空宇宙分野で活躍するLEX製品についてご紹介いたします。